

一年で一番忙しい枝豆の収穫作業、今が盛り

中国で四川大地震、日本では岩手・宮城内陸地震、また都市では集中豪雨による痛ましい事故など、自然災害による事故が絶えません。一人一人が環境保護を急務に考えざるを得ない状況だと思えます。

庄内地方は暖冬、春から少雨で、梅雨時もたいしたことなく過ぎ、そのおかげで農作業が順調に進み、水稲、枝豆、大豆などほとんどの作物が順調な生育です。

4月下旬に植え付けた早生の枝豆は生育の初期に霜害と干害が一部あったもののその後順調に生育し、また開花期にほどよい降雨もあったおかげで、収穫量、品質ともによく、近年にない出来ばえで、収穫作業に追われています。早生品種の収穫作業が終わるとお盆休みも関係なく、次の中生品種のただちゃ豆の収穫が続き、その後9月に入ると晩生品種の収穫へと続きます。

庄内協同ファームでは、7月末から9月中旬頃まで皆さんに安定しておいしい枝豆を召し上がって頂けるように10種類ほどの品種を栽培しています。理由は一品種の収穫適期は意外と短く平均4~5日程度なのです。ですから一ヶ月半以上も安定して出荷するにはどうしてもある程度の品種数が必要となるのです。

どうぞ、今年もおいしい枝豆を召し上がって下さい。

2008年8月11日

生産者 小野寺 仁志



2008年7月19日 撮影

枝豆の生育状況と、早生種の出荷時期の確認も含め、枝豆部会員で圃場を巡回したときの写真です。今年は例年以上に、(豊作だがもやぁ~)などの声が飛び交い、生産者も一安心と言った様子でした。

ただ、早生種の収穫時期は例年より、やや遅めの年のようです。

小野寺 仁志さんは、写真左端の中腰の方です。